

平成 30 年 8 月 28 日

保護者の皆さま

県立平塚農業高等学校長

## 平成 30 年度第 1 回授業評価アンケート集計結果

残暑の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、7 月に実施いたしました『第 1 回生徒による授業評価』集計結果の分析を次にまとめましたのでご覧ください。

今後も研究授業や教材開発などを行い、教職員の指導力向上をはかり、より良い授業を目指して改善に努力してまいりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

問合せ先

学事グループ 辻村・安江

TEL 0463-31-4250

### (1) 調査内容

県下共通の内容として実施されているもので、3つの大項目(A～C)、8つの中項目(1～8)ごとに質問事項を設け、「4: かなり当てはまる」、「3: ほぼ当てはまる」、「2: あまり当てはまらない」、「1: ほとんど当てはまらない」の4段階の評価を行った。

#### [質問事項]

##### A. 授業内容

- 1 (授業の準備、教材の工夫) 教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
- 2 (授業の充実感) 私は、授業で学習した内容がだいたい理解できている。
- 3 (授業の進め方) 生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。

##### B. 指導方法

- 4 (生徒主体の授業の工夫) 授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。
- 5 (説明のわかりやすさ) 説明の仕方がいいので、分かりやすい授業である。
- 6 (生徒への接し方) 生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。

##### C. 自分自身の取り組み状況

- 7 (学習への取り組み) 私は、授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして分かろうとする努力をしている。
- 8 (態度・姿勢) 私は、授業に対して意欲的に取り組んでいる。

(2) 各教科の結果

質問事項の評価「4：かなり当てはまる」の回答率(単位：%)を表にし、昨年度同時期である第1回授業調査よりも、評価が高くなっている部分を網掛けにした。

質問事項	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	芸術	英語	家庭	園芸 科学	食品 科学	農業 総合
1	44.8	30.3	29.8	27.4	35.2	41.3	29.8	21.3	31.7	39.4	26.9
2	35.0	21.9	29.8	20.2	34.0	40.4	26.7	17.6	25.1	29.1	19.7
3	42.8	23.5	27.7	22.5	33.1	39.0	30.1	18.0	28.2	35.9	22.9
4	51.6	14.5	20.3	20.7	34.5	32.4	23.9	31.0	25.9	29.3	20.1
5	49.4	32.5	34.9	33.9	35.7	42.1	33.2	20.0	32.6	45.3	26.9
6	44.1	21.5	29.6	20.9	34.3	43.9	27.1	20.2	29.9	38.2	24.4
7	35.0	24.8	37.7	25.5	34.0	43.6	26.7	24.8	33.0	31.7	28.7
8	47.9	32.6	40.9	30.8	45.0	52.7	34.6	28.3	42.0	42.0	29.0

(3) 各教科による集計結果の分析と対応策の概略

教科	集計結果の分析	授業改善の対応策
国語科	<p>前年度と比べ、1～8の質問事項において「4」と答えた生徒の割合が上昇した。</p> <p>前年度と比べ、1～8の質問事項に於いて「1」と答えた生徒の割合が1%を切った。</p> <p>特に、質問事項4で「1」と答えた生徒の割合は0%だった。</p> <p>一方で、質問事項7で「2」と答えた生徒の割合は前年度に比べて下がったものの、依然として割合は高い。</p>	<p>1～8すべての質問事項において、前年度と比べて割合が上昇しているため、引き続き継続的に指導していきたい。</p> <p>質問事項7で「2」と答えた割合を下げるために、折に触れて学業の大切さや、自己理解しようとすることの必要性を生徒に訴えていきたい。</p>
地理歴史・ 公民科	<p>評価「4」および「3」を合わせた割合はほぼ80%前後を達成しているといえる。教材の工夫、取り組みやすさ、理解度にあわせた授業展開、授業のわかりやすさ、きめ細かな指導等においては一定の評価を得られたものとする。</p> <p>講義型の一斉授業が多いため、質問事項4のみ評価「4」および「3」を合わせた割合が60%を切っている。</p>	<p>今後も継続して教材の精選に努め、生徒の理解度に応じたわかりやすい授業を展開する。</p> <p>今回の調査結果を受けて、質問事項4の改善に向け、基本的内容を中心に生徒同士が意見交換できるような機会を可能な限り設けるよう努力したい。</p>

教科	集計結果の分析	授業改善の対応策
数学科	<p>授業に対して意欲的に取り組んでいる生徒が多く、疑問等も解決しようとしている。さらに、授業内で理解できている生徒の数は多くなっている。</p>	<p>意欲のある生徒が増えている一方で、授業の満足度は高くないように感じる。</p> <p>問題を相談して解いたり、黒板で発表させたりして主体的・対話的で深い学びができるよう授業展開を工夫する。また、質問事項4を30%以上にすることを目標としていきたい。</p>
理科	<p>質問事項4を除いた項目で「4」または「3」と解答した生徒が8割ほどいる。これは、生徒が授業内容においておおむね理解し、満足していると考えられる。</p> <p>しかし、質問事項4の評価が低く、これは生徒同士で協議する機会や発言、発表の場が少ないためと思われる。</p>	<p>実験や観察などを通して協議をする場を設け、生徒同士の対話をする機会を増やしていく。</p> <p>また、実験以外の授業でも生徒が主体的に考えたり発言したりする機会をつくり、深い学びへとつなげていくことで改善できると考えられる。</p>
保健体育科	<p>授業の様子から、実技科目の好き嫌いは別にして、一生懸命取り組む姿勢がうかがえる。グラフからも、体育科の目標としている、個人がそれぞれに目標をもって出来ることに精一杯努力すること、そして少しずつ自分の目標をステップアップさせていくことが、概ね達成できているとみられる。</p>	<p>いつでも生徒が主体的に活動するように指導していく。</p> <p>また、次のステップに向けて、自らがもう一つ先の目標を掲げ、より高い意識をもって取り組めるように、声かけの工夫をしていく。</p>
芸術科	<p>全体的に昨年より良い結果が出ているので、今学期はより良い授業展開ができていると思われる。</p> <p>ただ、まだ不十分な点もあり、特に質問事項4の授業中生徒が話し合う機会や意見などの発表があまりないという点を改善しなければならない。</p>	<p>生徒一人ひとりが理解しやすく取り組みやすい展開を工夫する。</p> <p>具体的には、個々の発表をすることで他の生徒の表現や作品を知る機会をつくり、さらに批評や意見交換など生徒同士の関わり合いの時間を増やす。</p>
英語科	<p>80%位の生徒が授業内容を概ね理解している一方で、英語が不得意な生徒も全体の20%位いるのではないかとと思われる。理解度には差があり、それぞれにどのように定着させていくかが課題である。</p> <p>また、生徒同士で話し合う機会や、意見を発表する場が少ないとする声も20%位あった。どのように生徒主体の授業に変えていくかも課題である。</p>	<p>レベル別の教材を準備し、個々の生徒に合わせる工夫をする。</p> <p>わかる生徒がわからない生徒に教える場を設ける。</p> <p>宿題などを課して家庭学習を定着させ、生徒と双方向になるよう心がける。</p> <p>外国語を学ぶことの面白さに気付かせ、生徒の興味を引くように、生徒主体の授業を意識しながらグループワーク等を徐々に取り入れていく。</p>

教科	集計結果の分析	授業改善の対応策
家庭科	<p>評価「4」と「3」を合計はどの質問事項も76%を超えている。質問事項3以外は昨年度よりやや下がっている。</p> <p>評価「4」だけ比較すると、質問事項2、8はわずかであるが、昨年度より増えている。</p>	<p>必修の「家庭総合」は年間で内容が大きく変わるので、生徒の意欲を育てる方法を各分野で工夫していきたい。</p> <p>生徒同士で話し合いを行う場や、意見を発表する機会を増やし、発表内容をまとめて掲示するなど、生徒1人ひとりの興味関心を高め、学習に対する意欲を高めていきたい。</p>
園芸科学科	<p>質問事項4「授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。」が、他の項目より低い事がわかる。1学期は、基礎的・基本的な授業内容が多くなりがちなためである。</p>	<p>質問事項4について2学期は、基礎基本をもとに、応用的な授業・実習が展開されるので、1学期以上の評価が得られるように取り組む。</p>
食品科学科	<p>質問事項1・2・3・5・6については、昨年度よりも上昇しており、きめ細かい指導が実を結びつつある。</p>	<p>質問事項4については昨年度よりも下がっており、生徒同士の話し合う機会を設ける努力が必要である。</p> <p>また、質問事項7では、教職員の方から生徒への確認をしていきたい。</p>
農業総合科	<p>質問事項4については、科目の特質上、実現しにくい部分があり、その中でも取り入れられる部分を模索し、科内でも周知しつつ実施してきた。生徒同士の力を生み出す観点からも、話し合う機会を増やす工夫や、積極的に発表を取り入れる工夫を今後していきたい。</p>	<p>質問事項4について、今後も、グループ学習や生徒がわかるところ、わからないところを発表する機会をできる限り取り入れ、生徒が主体的に深く考えることが出来る環境づくりを図りたい。</p>